

2022年7月20日
東京国立博物館
故宮博物院
文化財活用センター
凸版印刷株式会社

東京国立博物館、故宮博物院、凸版印刷、 紫禁城内の宮殿「倦勤齋」をVRで日本初公開

現地の見学では立ち入ることができない宮殿建築が鑑賞可能
東京国立博物館 平成館での特別デジタル展「故宮の世界」と連動上演

独立行政法人国立文化財機構東京国立博物館(所在地:東京都台東区、館長:藤原 誠、以下 東京国立博物館)、中国・故宮博物院(所在地:北京市、院長:王 旭東、以下 故宮博物院)、独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター(所在地:東京都台東区、センター長:旭 充、以下 文化財活用センター)と凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、東京国立博物館 東洋館内「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」にて、『故宮 VR 紫禁城(しきんじょう)・天子の宮殿 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター編』を2022年7月26日(火)から10月16日(日)まで上演します。また、東京国立博物館 平成館にて2022年7月26日(火)から9月19日(月・祝)まで、日中国交正常化50周年を記念した特別デジタル展「故宮の世界」を開催。中国の明・清時代の宮殿、紫禁城をテーマとする両企画で、故宮・紫禁城ゆかりの名品や、実際の見学では立ち入ることができない宮殿建築を鑑賞することができます。



左:『故宮 VR 紫禁城・天子の宮殿 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター編』

製作・著作: 故宮博物院/凸版印刷株式会社

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター編 監修: 故宮博物院/東京国立博物館/文化財活用センター

右: 日中国交正常化50周年記念 特別デジタル展「故宮の世界」

主催: 東京国立博物館、故宮博物院、凸版印刷株式会社

本 VR 作品では、72 万平方メートル以上の広大な空間を有する故宮・紫禁城内に立ち並ぶ何百もの建物のうち、政治と儀式の空間である「外朝(がいちょう)」から、故宮最大の宮殿「太和殿(たいわでん)」を、政治と生活の場でもある「内廷(ないてい)」からは、乾隆帝(けんりゅうてい)が政務と日常生活を送った「養心殿(ようしんでん)」と、乾隆帝が晩年住む場所として自らの理想を形にした「倦勤齋(けんきんさい)」を巡ります。なお、「倦勤齋」の VR による紹介は日本で初めてです。また、本 VR 作品は、2000 年より 20 年以上にわたり故宮博物院と凸版印刷が共同で推進している「故宮文化資産デジタル化応用研究(略称: 故宮プロジェクト)」の成果を活用するもので、この度は、TNM & TOPPAN ミュージアムシアター編として上演します。

今年 2022 年は、日中国交正常化 50 周年を迎える節目の年です。この記念すべき年に、「紫禁城」をテーマとした VR 作品の上演と特別デジタル展の連動企画を実施し、その魅力を再発見する機会を提供します。

■『故宮 VR 紫禁城・天子の宮殿 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター編』のみどころ

・明・清時代の紫禁城を再現

紫禁城は、明王朝・清王朝あわせて約 500 年間、歴代皇帝の居城であり、中国の政治、経済、文化の中心となりました。現在は、「故宮博物院」として一部を除き一般公開されています。本 VR 作品は、康熙帝(こうきてい)、雍正帝(ようせいてい)、乾隆帝の 3 人の皇帝が統治した明・清時代の皇城を再現し、一般の人々が立ち入ることのできなかった当時の紫禁城に、時空を超えて訪れるような体験を可能にします。



紫禁城を俯瞰した図

・観光で訪れても立ち入ることのできない内部空間

文化財保護の観点から、観光で訪れても立ち入ることのできない宮殿内部に VR で訪れ、その華麗な色彩や職人と画家が趣向を凝らした室内装飾を鑑賞できます。また、VR ならではの視点で、たくさんの小部屋に仕切られた「倦勤斎」の内部構造も見ることができます。



左:「太和殿」内部の玉座 中:乾隆帝のコレクションが並ぶ「養心殿 三希堂」 右:「倦勤斎」の内部構造

■ 特別デジタル展「故宮の世界」のみどころ

明・清王朝の宮殿であった「紫禁城」。その世界観を再現したデジタル空間が、東京国立博物館の展示室に出現します。故宮博物院が収蔵する 186 万点以上の作品の中から選りすぐった歴代皇帝達のコレクションを、高精細デジタルアーカイブデータを活かした、さまざまなデジタル展示の手法で紹介いたします。

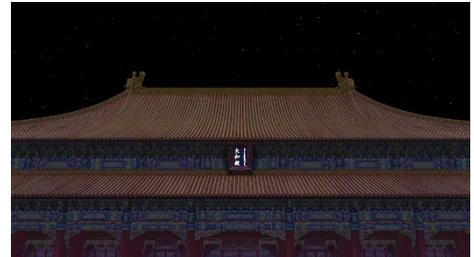
また、東京国立博物館が所蔵・管理するコレクションの中からセレクトした、歴代皇帝や宮廷にゆかりのある文化財を展示し、中国文化の精粹、故宮博物院の多彩な魅力を紹介いたします。

・インсталレーションで紫禁城の世界を表現

紫禁城の名前の由来である古代中国の天文学との関連性をテーマとしたインсталレーションで、明・清王朝の歴代皇帝が国を治める拠点であった「紫禁城」の世界を表現します。

・ウォークスルーで明・清時代の紫禁城を体験

明・清時代の皇城を再現した VR 空間を大型の LED ビジョンで体感。午門や太和門といった中軸に位置する壮麗な門や、外朝の中でも国家の重要な政務・儀式を行った太和殿、中和殿、保和殿の「三大殿」など、中華思想を基につくられた華やかな建築群の往時の姿を、通り抜けるように楽しむことができます。



・故宮博物院所蔵の文物 30 点を 6 面サイネージに陳列

故宮博物院に所蔵されている歴代皇帝のコレクションの高精細なデジタルアーカイブデータを使用した「デジタル多宝閣」を展示。青銅器や玉器、陶磁器、漆器などの傑作から約 30 点を「多宝閣」に見立てた 6 面サイネージに陳列します。高精細なデータによってディテールまで鑑賞できます。



・傑作「千里江山図巻」を大画面でデジタル鑑賞

青緑山水の傑作といわれる「千里江山図巻(せんりこうざんずかん)」を没入型の大画面シアターで展示。中国国内でも展示機会が限られる名品であり、これまで日本では公開されたことのない本作品を、高精細なデジタルデータで初公開。洗練された技法を活かし、華やかな色彩と緻密な筆使いで描き出された雄大な景色を、幅約 14m の大画面を通じて鑑賞できます。



■『故宮 VR 紫禁城・天子の宮殿 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター編』上演案内

場所	東京国立博物館東洋館地下 1 階 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター
期間	2022 年 7 月 26 日(火)～10 月 16 日(日)
上演日時	水・木・金 12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 土・日・祝・休日 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00 *所要時間約 35 分、各回定員 90 名 *〈特別上演日〉特別デジタル展「故宮の世界」会期中[7月 26 日(火)～9 月 19 日(月・祝)]の火曜および 8 月 15 日(月)は、12:00 から上演します。なお、9 月 19 日(月・祝)は、11:00 から上演します。 *上演スケジュール、定員は都合により変更する場合がございます。
鑑賞料金	特別デジタル展「故宮の世界」・ミュージアムシアターセット券:1,800 円 高校生以上:600 円 中学生・小学生:300 円 未就学児、障がい者とその介護者各 1 名無料 *チケットは、シアター前チケット売場でご購入いただけます。ただし、特別デジタル展「故宮の世界」セット券は、正門チケット売場でのみご購入いただけます。 *開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。 *新型コロナウイルス感染拡大予防対策を行っております。詳しくはシアターWeb サイトをご覧ください。
シアターWeb サイト	https://www.toppan-vr.jp/mt/

■ 特別デジタル展「故宮の世界」情報

名称	日中国交正常化 50 周年記念 特別デジタル展「故宮の世界」
会場	東京国立博物館 平成館 特別展示室第 1 室・第 2 室
期間	2022 年 7 月 26 日(火)～9 月 19 日(月・祝)
主催	東京国立博物館、故宮博物院、凸版印刷株式会社
特別協力	朝日新聞社
後援	日本アジア共同体文化協力機構
開館時間	9:30～17:00(入館は閉館の 30 分前まで) *休館日: 月曜日、ただし 8 月 15 日(月)、9 月 19 日(月・祝)は開館します。
鑑賞料金	特別デジタル展「故宮の世界」・ミュージアムシアターセット券:1,800 円 一般:1,500 円 大学生:900 円 高校生以下および満 18 歳未満、障がい者とその介護者各 1 名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。 *詳細は、特別デジタル展公式サイトをご覧ください。
特別デジタル展公式サイト	https://kokyu2022.jp/

■ 「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」について

「TNM & TOPPAN ミュージアムシアター」は、VR による文化財の新しい鑑賞方法を体験できる施設です。「バーチャルリアリティで時空を超える」をコンセプトに、東京国立博物館の収蔵品を中心とする文化財デジタルアーカイブを VR 技術で可視化。文化財の姿をあざやかに映し出す超高精細 4K プロジェクタ、300 インチの迫力ある大きなスクリーン、専属のナビゲーターのライブ上演により、コンピュータが生成する三次元空間の中にいるかのような感覚で文化財を鑑賞できます。文化財の往時の姿の再現や肉眼では鑑賞することが難しい細かなディテールの拡大など、デジタルならではの文化財との新たな出会いと楽しみ方を提供する空間です。

・シアターWeb サイト <https://www.toppan-vr.jp/mt/>

■ 故宮プロジェクトについて

「故宮プロジェクト」は、故宮博物院内の宮廷建築群と文物を、凸版印刷が開発した VR 等の技術で保存・公開する共同研究プロジェクトです。国家認定の国際共同プロジェクトとして 2000 年にスタートし、紫禁城空間のデジタル化を推進。明・清時代の皇城の姿を再現する『故宮 VR 紫禁城・天子の宮殿』シリーズの共同制作を進めてきました。

20 年間を通じて先駆的に取り組んできた VR によるデジタルアーカイブは、その規模において、世界に類例のないものになっています。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以上

<報道に関するお問い合わせ先>

凸版印刷株式会社:広報本部 TEL 03-3835-5636 FAX 03-3837-7675